

魚のひれ

水族館へ行こう!

京都大学白浜水族館



△
胸びれを上手にを使って
水中で止まるハリセン
ボン(水槽番号411-3)

魚が水中を泳ぐのに使っている「ひれ」。それぞれの使い方や、生きた力を水に伝える。一番うか。いろいろな種類の魚で比べてみると、これが案外面白い。一番多く見られるのは、尾び

れを使って泳ぐ方法だ。この泳ぎ方では、体全体をくねらせて

に縄張りを持っているような魚たちは、敵に襲われたりした時には尾びれで逃げるけれど、日ごろは別の泳ぎ方をしているものがたくさんいる。

独特な泳ぎ方なのはフグやカワハギの仲間。彼らは胸びれのほかに背びれと尻びれを左右に振ったり、波打たせたりして泳いでいる。とくにカワハギの仲間の泳ぎ方は巧みだ。ひれを波打たせる動きを逆転させて前進も後退も思いのまま。同じところに止まっていることもできる。カワハギの仲間が釣りの餌取りとして有名なもの、同じところに止まったまま餌を引っ張らずに食べられるからだ。

この泳ぎ方をしている。

一方、岩礁など

胸びれを左右交互に動かす魚もいる。スマメタイやチョウチ

って、また状況によって、いろいろなひれの使い方をしてい

ヨウウオの仲間が分かります。ゆっくりと泳いだり、同じ場所に止まっていたりするときには、胸びれを左右交互に動かす。少し速く泳ぐときは左右同時に動かすよつだ。さらに全速力の時には尾びれで泳ぐ。泳ぐ

今度、水族館に来ることがあればそんなところも注意してみると意外な面白さを見つけられる。

(京都大学技術職員)

使い方さまざま